

モーリタニア月例報告  
(2019年2月及び3月)

2019年4月  
在モーリタニア日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 3月 2日 与党UPR党大会におけるガズワニ国防大臣（当時）の次期大統領選党候補指名
- 3月 5日 政党法に基づく76少数政党への解党命令通告
- 3月12日 次期大統領選挙における野党統一候補擁立の失敗
- 3月15日 内閣の一部改造

【外政】

- 2月 6日－2月7日 イスマイール外相のエチオピア訪問
- 2月10日 アブデル・アジズ大統領の世界政府サミット参加
- 2月11日 アブデル・アジズ大統領の国連安保理改革に関するAU非公開会合出席
- 2月23日－3月6日 イスマイール外相の中東諸国歴訪
- 2月19日－3月4日 マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スプークスパーソン（大統領特使）のマグレブ3か国歴訪
- 3月 1日 アダマ・バロウ・ガンビア大統領の当地国賓訪問に係る共同コミュニケの発出
- 3月14日 マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スプークスパーソン（大統領特使）のリビア訪問
- 3月25日 米国によるゴラン高原へのイスラエルの主権承認に関するモーリタニア政府コミュニケ
- 3月25－26日 ジャイ経済・財務大臣の第52回アフリカ経済・財務閣僚会合参加

【経済】

- 3月12日－13日 IMF第3次レビューミッションの当地訪問

【日・モーリタニア関係】

- 2月27日 佐藤外務副大臣の当地訪問
- 3月12日 草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「テカン市ダール・ア

サラム保健ポスト整備計画」署名式への江原大使出席  
草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「エルミナ市ダールル・  
ベイダ保健ポスト整備計画」署名式への江原大使出席

3月14日 「日本武道の日」の開催

#### 【Gサヘル】

2月 4日 アブデル・アジズ大統領のG5サヘル首脳会合出席

#### 【西サハラ】

3月11日 サハラ・アラブ民主共和国（RASD）大統領発アブデル・アジズ大  
統領宛親書の手交

#### 【内政】

●与党UPR党大会におけるガズワニ現国防大臣の次期大統領選挙党候補指名  
（3月2日付当地政府系メディア「モーリタニア通信（AMI）」）

1 3月2日、与党第一党UPRの第2回党大会が開催され、次期大統領選挙  
におけるガズワニ現国防大臣の党候補指名等の重要決議が採択された。

2 党大会の冒頭において、マハム党首及び党執行部が辞任し、議事進行は長  
老会に戻された。その後、次期大統領選挙の党候補として、ガズワニ現国防大  
臣が指名された。また、次期党大会開催までの間の党運営を担当する暫定委員  
会を選出し、委員長にはモハメド・フーナ公務・労働・雇用・行政近代化大臣  
が就任。暫定期間中の事務局長にはアブデル・ヴェッタ石油・エネルギー・鉱  
業大臣が選出された。

●政党法に基づく76少数政党への解党命令通告（3月5日付当地独立系ニュー  
ースサイト「クリデム」）

1 3月5日、内務・地方分権化大臣は、法律に基づき、過去2回連続で選挙  
に参加しなかったか又は得票率1%に満たなかった70以上の政党に対して、  
解党命令の通告を行った。今次決定は適用法令の詳細と共に当該政党に対して  
書簡で通知されている、と内務省筋は明かした。

2 今回の法令は、2013年及び2018年の選挙結果に基づき適用され、  
2013年の選挙以降に公認された政党は対象から除外される。直近の選挙が  
行われた際には100以上の政党が参加しており、選挙後に当該法令が適用さ  
れるということについては各党とも承知していた。今回の76政党の解党によ  
り、同国の政党数は105から約30のみとなった。

●次期大統領選挙における野党統一候補擁立の失敗（3月13日付「クリデム」）

1 3月12日、野党が次期大統領選挙での統一候補を擁立できないことが明らかとなった。情報筋が確認したところによれば、全会一致での統一候補擁立の失敗に直面した野党は、各陣営がそれぞれの候補者を自由に擁立できることとした。12日の最終会合において、野党統一候補の擁立が失敗したことが報告された。以前、野党は、統一候補を擁立するための選挙同盟を組むことに合意署名していた。

2 野党グループFNDUの現議長を務めるマウルードUFP党首は、民主野党選挙同盟（AEOD）が、12日夕刻に開催された会合において、次期大統領選挙における複数候補擁立戦略の採択に合意した、と明言した。マウルード党首は、右戦略は同選挙同盟陣営に属する政党間で協議を重ねた末に決定されたものであると述べるとともに、第一回投票の際には各候補者間の協議調整を行うほか、第二回投票では団結することで合意したことを強調した。同党首は、共に行動し、選挙の透明性を政権側に課すことがAEODでコンセンサスされた点であるとも付言した。

●内閣の一部改造（3月18日付当地政府系紙「シャアブ」及び「オリゾン」）

3月15日付の政令により、以下のとおり内閣の一部改造が行われた。

1 国家教育・職業訓練大臣：マグブール・ミント・ブルディッド（Mrs. Megboule Ment BOURDID）（初入閣）

2 国防大臣：ヤヒヤ・ウルド・ハッターミン（Mr. Yahya OULD HADEMINE）（大統領府特命担当国務大臣から横滑り）

3 設備・運輸大臣：イセルム・ウルド・シーディー・エル＝モクタール・ウルド・レビブ（Mr. Isselmou OULD SIDI' EL MOCTAR OULD LEHBIB）（水利大臣から横滑り）

4 水利大臣：ナーハ・ミント・ハマディ・ウルド・ミクナース（Mrs. Naha Mint Hamdi OULD MOUKNASS）（国家教育・職業訓練大臣から横滑り）

なお、大統領府特命担当国務大臣ポストは、ヤヒヤ・ウルド・ハッターミン大臣の国防大臣への就任に伴い、とりあえず空席とされた。

## 【外政】

●イスマイル外相のエチオピア訪問（２月７日付当地政府系紙「オリゾン」他）

１ 中国・アフリカ対話閣僚級会合への出席（２月７日付「オリゾン」）

２月６日、イスマイル外相は、平和と治安へのイニシアチブ実行のための中国・アフリカ対話閣僚級会合に出席した。

２ 第３４回ＡＵ執行理事会への出席（２月７日付「ＡＭＩ」）

２月７日、イスマイル外相は、第３４回ＡＵ執行理事会へ出席した。同理事会は、本年２月１０日及び１１日にアディスアベバで開催されるＡＵ首脳会合の準備のために開催された。

●アブデル・アジズ大統領の世界政府サミット参加等（２月１０日付「ＡＭＩ」）

２月１０日にアブダビで開催した第７回世界政府サミットにアブデル・アジズ大統領が参加し、会議のマージンでムハンマドＵＡＥ副大統領兼首相（ドバイ首長）と会談して二国間協力関係を協議した。

●国連安保理改革に関するＡＵ非公開会合へのアブデル・アジズ大統領の出席（２月１１日付「ＡＭＩ」）

２月１１日、第３２回ＡＵサミットのマージンで開催された国連安保理改革に関するＡＵ非公開会合にアブデル・アジズ大統領が出席した。

●イスマイル外相の中東諸国歴訪（２月２３日付「ＡＭＩ」他）

１ ２月２３日から３月６日にかけて、イスマイル外相が中東諸国を歴訪した。イスマイル外相は、外遊中に、２月２４日及び２５日に開催されたアラブ連盟・ＥＵサミットにアブデル・アジズ大統領の代理として出席したほか、３月１日及び２日に開催されたイスラム協力機構外相理事会にも出席した。イスマイル外相の歴訪日程は以下のとおり。

（１）２月２３日

アラブ連盟・ＥＵサミットに出席のため、ヌアクショットを出発。

（２）２月２４－２５日

シャルム・エル・シェイク（エジプト）で開催されたアラブ連盟・ＥＵサミットに、アブデル・アジズ大統領の代理として出席。

（３）２月２４日

シャルム・エル・シェイクにて、ハディ・イエメン大統領と会談し、アブデル・アジズ大統領の親書を手交。

(4) 2月27日

マスカット（オマーン）にて、アラウィ・オマーン外相と会談し、二国間関係につき協議。

(5) 2月28日

マスカットにて、サイド・オマーン国王と会談し、アブデル・アジズ大統領の親書を手交。

(6) 3月1-2日

アブダビ（UAE）にて、第46回イスラム協力機構（OIC）外相理事会に出席。

(7) 3月2日

アブダビにて、イスラム協力機構（OIC）労働センター規約に署名。また、同地にて、アブダラーUAE外相と会談し、アブデル・アジズ大統領発ハリファUAE大統領宛親書を転達。

(8) 3月3日

クウェートにて、サバーハ・クウェート外相と会談及びアブデル・アジズ大統領発サバーハ・クウェート首長宛親書を転達。

(9) 3月4日

マナーマ（バーレーン）にて、サルマン・バーレーン皇太子と会談し、アブデル・アジズ大統領発ハマド・バーレーン国王宛親書を転達。

(10) 3月5日

リヤド（サウジアラビア）にて、アブデル・アジズ大統領発サルマン・サウジアラビア国王宛親書を転達。

(11) 3月6日

ヌアクショットに帰国。

●マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スポークスパーソン（大統領特使）のマグレブ3か国歴訪（2月19日付「AMI」他）

1 マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スポークスパーソンが大統領特使として、アルジェリア、チュニジア、モロッコのマグレブ3か国を歴訪した。同大統領特使の歴訪日程は以下のとおり。

(1) 2月19日

アルジェにて、ウーヤヒヤ・アルジェリア首相と会談し、アブデル・アジズ大統領発ブーテフリカ・アルジェリア大統領宛親書を転達。

(2) 2月22日

チュニスにて、エセブシ・チュニジア大統領と会談し、アブデル・アジズ大統領の親書を手交した。

(3) 2月26日

ラバトにて、ラシッド・モロッコ王子と会談し、アブデル・アジズ大統領発モハメッド6世モロッコ国王宛親書を転達した。

2 3月4日、ヌアクショットにて、モロッコのバラカ・イステクラーレ党総書記（モロッコ国王特使）はアブデル・アジズ大統領を表敬し、モハメッド6世モロッコ国王親書をアブデル・アジズ大統領に手交した。

●アダマ・バロウ・ガンビア大統領の当地国賓訪問に係る共同コミュニケの発出（3月1日付「AMI」）

1 アブデル・アジズ大統領の招待により、アダマ・バロウ・ガンビア大統領は、漁業相や外相等を含む大代表団と共に、2月27日から3月1日かけて国賓訪問を行った。

2 今次訪問は、モーリタニア・ガンビア両国民の間の歴史的な関係の進化、両国間の博愛、協力、パートナーシップを強化させたいとの両首脳の思いを表している。

3 今次訪問の中で、両大統領はテタテの会談及びその後の代表団を交えた拡大会合を開催し、二国間関係、地域的及び国際的な共通関心事項について協議を行った。

4 アダマ・バロウ・ガンビア大統領は、国家の安全と安定を脅かしたガンビア大統領選挙後の政治的膠着状況を打開させたアブデル・アジズ大統領の尽力を賞賛した。

5 アブデル・アジズ大統領は、アダマ・バロウ・ガンビア大統領がグッド・ガバナンス、自由、強い社会的一体性、人権尊重といった雰囲気の中で国家の開発促進に向けて弛まぬ努力を行っていることを強調した。

6 二国間関係について、両大統領は、両国を結ぶ博愛及び友情の関係についてレビューを行い、両国を結ぶ二国間協力関係の進化に対する満足を表明するとともに、この関係を増進させてモーリタニア・ガンビア両国民の利益に資する新たな領域へと向かっていくために適切なあらゆる措置を取っていくとの意志を表明した。

7 両大統領は、水産、畜産、職業訓練、エネルギー、石油、農業等の分野での協力について様々な議論を行うとともに、モーリタニア・ガンビア協力合同委員会第6回会合の開催の加速化を関係部署に対して指示した。

8 地域及び国際関係について、両首脳は、アフリカの急速な発展を賞賛するとともに、アフリカの経済統合加速化を訴えた。両首脳は、国連システム改革により安保理常任理事国のアフリカ枠2議席を確保することや、様々な国連機関でのアフリカのプレゼンスを増進させることの必要性について強調した。ま

た、中東和平問題について、関連する国連決議や国際法の規定を適用し、エルサレムを首都とする独立国家の樹立を求めるパレスチナ人民の正当な権利を保障する公正で持続的な解決の追求に対する支持を強調した。

●マハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スポークスパーソン（大統領特使）のリビア訪問（3月15日付「オリゾン」）

3月14日、トリポリにおいて、リビア訪問中のマハム文化・伝統産業・議会大臣兼公式スポークスパーソン（大統領特使）がシラージュ国民統一政府首相（兼首脳評議会議長）を表敬し、アブデル・アジズ大統領からの親書を手交した。

●米国によるゴラン高原へのイスラエル主権承認に関するモーリタニア政府外務・協力省コミュニケ（3月25日付「AMI」）

1 モーリタニア・イスラム共和国は、トランプ米国大統領による、シリア・ゴラン高原へのイスラエルの主権の承認に係る署名に対し、遺憾の意を示すとともに、驚愕している。とりわけ、同承認は、全ての法原則を侵害し、国際法に基づく、特に1981年の安保理決議497を無視し、そして同地域及び世界の安定と平和に影響を及ぼすものであるためである。

2 モーリタニアは、法の規定及び国際法に基づく決議に従い、シリア領土保全への支持を改めて表明するとともに、アラブ連盟が表明したアラブ共通の立場に従い、シリアの権利を全面的に支持していることを再度公言する。また、英知と真実が勝ることを願いながら、この大義名分を支持する全世界の反応を称賛する。

●ジャイ経済・財務大臣の第52回アフリカ経済・財務閣僚会合への参加（3月25日付「オリゾン」）

1 ジャイ経済・財務大臣が、25日から27日にかけてモロッコのマラケシュで開催されているアフリカ経済・財務閣僚会合に出席した。今次会合のテーマは、「デジタル時代における商業・財政政策と民間セクター：アフリカのための戦略」である。

2 同会合において、モーリタニアは、過去10年間で、経済及び財政政策において、アフリカで最も成功した例の一つとして、その経験を紹介するために選出された。

3 同会合は、参加閣僚たちが、持続可能な開発のための2030アジェンダ及び「アジェンダ2063」の枠組みの中で、アフリカ大陸間自由貿易協定（AFCFTA）を実施するための財政方針とデジタル経済時代における民間セク

ターが果たす決定的な役割について再検討する機会となった。

### 【経済】

● IMF第3次レビューミッションの当地訪問（3月13日付「オリゾン」）  
1 12日、バシル首相は、首相府にてIMFミッション一行（団長：エリック・モティ IMF中近東・中央アジア局副局長）の表敬を受けた。会談では、モーリタニアとIMFとの間の協力関係の現状につき議論された。

2 会談終了後、団長はモーリタニア通信（AMI）に対し、以下の点について言及した。

（1）モーリタニア当局は、決意をもって、誠実に経済・財政プログラムを実施している。規律のとれた経済政策及び数年前から始まった改革は、実を結び始めている。モーリタニアを取り巻く国際的な環境は厳しいが、マクロ経済バランスは守られている。今年に入り、年率6%以上の成長を見せる非採掘産業に牽引される形で、経済成長は年率6%のスピードにまで加速している。同時に、インフレ率は年3%前後に抑えられ、予算バランスも確保されてきている。

（2）IMFとモーリタニア政府の間では、予算改革、公共投資、通貨政策、銀行監督、民間セクター環境整備、反汚職対策、グッド・ガバナンスに係る次の段階の取組みについて議論された。良い経済政策を実践することにより、予算の無駄を省き、その資金を教育、保健、社会保障の支出に回すことで、包括的な成長や雇用を支えることができる。

（3）IMFは、モーリタニアの関係機関とこれまで議論してきた現在の経済改革プログラムを引き続き支援していく。IMF理事会では、本年5月に第3次プログラム・レビューを終了させることができるに違いない。

### 【日・モーリタニア関係】

● 佐藤正久外務副大臣のモーリタニア訪問（2月27日付「AMI」）

2月27日、佐藤正久外務副大臣がモーリタニア・ヌアクショットを訪問した。佐藤外務副大臣のモーリタニア訪問についての概要は以下のとおり。

1 アブデル・アジズ大統領表敬

2月27日朝、アブデル・アジズ大統領は佐藤外務副大臣の表敬を受け、良好な二国間協力関係の現状をレビューするとともに、今後の更なる発展の方途について協議した。

2 E/N等の署名・交換式（佐藤副大





臣署名)

2月27日、ジャイ経済・財務大臣は、佐藤外務副大臣及び森谷JICAセネガル事務所長との間で、平成30年度対モーリタニア無償資金協力「水産物衛生検査公社ヌアディブ検査・分析所建設計画」に係るE/N等の署名を行った。本件供与額は約4億68百万ウギアに上る。

### 3 ヌアクショツト国立公衆衛生学校（ENSP）視察

2月27日、佐藤正久外務副大臣はENSPを訪問し、ハイディ校長より説明を受けた。同訪問には、江原大使とJICA事務所長が同行した。



### 4 水産物衛生検査公社（ONISPA）ヌアクショツト検査・分析所視察

佐藤外務副大臣は、ONISPAヌアクショツト検査・分析所を訪問し、関係者からの説明を受けた。同訪問には、漁業・海洋経済省関係者及び江原大使が同行した。



### 5 ヌアクショツト魚市場視察

2月27日、アブドゥ・ダーイム漁業・海洋経済大臣と佐藤外務副大臣は、多様な日モーリタニア協力の一例であるヌアクショツト魚市場を訪問し、関係者からの説明を受けた。



●草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「テカン市ダール・アサラム保健ポスト整備計画」署名式への江原大使の出席  
3月12日、江原大使は、平成30年度対モーリタニア草の根・人間の安全保障無償資金協力「テカン市ダール・アサラム保健ポスト整備計画」の贈与計画書署名を実施した。本支援により、新しい保健ポスト本棟、外壁、トイレ、焼却炉、太陽光発電及び医療備品が整備され、テカン市ダール・アサラム村及び周辺12村の約4,400人の住民がより良い保健医療サービスを受けることができ、住民の健康増進に寄与することが期待される。



●草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「エルミナ市ダールル・ベイダ保健ポスト整備計画」署名式への江原大使の出席  
3月12日、ヌアクショットのエルミナ市ダールル・ベイダ保健ポストにて、江原大使は、平成30年度対モーリタニア草の根・人間の安全保障無償資金協力「エルミナ市ダールル・ベイダ保健ポスト整備計画」の贈与計画書署名を実施した。本支援により、栄養センター、保健ポスト本棟、外壁、公衆トイレが修繕されるとともに、医療備品が整備され、ダールル・ベイダ地域の住民約7万人がより良い保健医療サービスを受けることができ、住民の健康増進に寄与することが期待される。



●「日本武道の日」の開催  
3月14日、在モーリタニア日本大使館は、ヌアクショット市旧青少年・スポーツセンター講堂にて、青少年・スポーツ省及びモーリタニア柔道連盟、同空手連盟との共催で、「日本武道の日」を開催した。約400名の観客が見守る中、モーリタニアの若者たちが、空手及び柔道のデモンストレーションを披露した。



#### 【G5サヘル】

●アブデル・アジズ大統領のG5サヘル首脳会合出席（2月4日付「モーリタニア通信（AMI）」）

2月4日午後、アブデル・アジズ大統領が第五回G5サヘル首脳会合に出席するためワガドゥグに向けてヌアクショットを出発した。

#### 【西サハラ】

●サハラ・アラブ民主共和国（RASD）大統領発アブデル・アジズ大統領宛親書の手交（3月12日付「オリゾン」）

1 11日、カダッド（Mr. M' Hamed Khadad）ポリサリオ戦線国家事務局常設部（permanent desk of national secretariat）がサハラ・アラブ民主共和国（RASD）大統領特使としてアブデル・アジズ大統領を表敬し、イブラヒム・ガリRASD大統領からの親書を手交した。

2 アブデル・アジズ大統領への表敬後、カダッドRASD特使は当地政府系「オリゾン」に対し、本親書は二国間関係、西サハラ問題の持続的・平和的解決に向けた国際社会の弛まぬ行動に関係するものであると言及した。

（了）